

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市玉島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 藤澤 徳久
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市保健福祉局社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、「地域に根差した取り組みができて いるか」を重視して評価した。 周辺清掃により環境美化に寄与しているほか、 もちつき大会等を通じ、地域の方との交流もでき ている点は、評価できる。 不登校児の居場所や小学生の学びの場として も、地域貢献ができています。	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	今年度は、地域に根差した取り組みを意識して評価を行った。 ・相談者、来館者、団体利用者数とも、前年度を上回った。 ・サロン活動には、玉島地区のスポーツ推進員や栄養改善委員、 心ほっとサポーター等の方々に協力していただいたが、利用者か らも好評を得ている。参加者も増えた。 ・季節行事にも、作陽大学や地元の演奏家に出演を依頼し、盛会 となった。 ・「はばたきふれあい祭り」は悪天候のため当日の開催が中止 となったが、玉島地区のB型事業所や手話サークルなど16も の団体が実行委員として参加し、準備を進めていた。 ・中高生の不登校児のために居場所支援をしている「玉島を楽 しむ会」や、勉強に自信がない小学生のための「学びの広場」 が、団体として支援センターを利用するようになった。障害者 手帳の有無にこだわらず、気軽に来所できる場となっている。 ・2月にJFE労組の協力によりもちつき大会を開催したとこ ろ、近隣の福祉サービス事業所や地域の方など105名の参加 があり、盛り上がった。	
(3) アンケート結果の概要	・管理運営については93%、職員の対応については98%の 利用者から、満足又はほぼ満足の回答が得られた。 ・ヨガやウォーキングなど身体を動かす行事を企画してほしい という意見があった。 ・館内の設備や器具の買い替えについての要望もあった。	

・アンケート結果については別紙のとおり。

3 施設の利用状況

			今年度	前年度	特記事項（前年比）
	施設利用者		16,580 人	13,222 人	125 %
(1) 利用実績	相談支援	面接相談	3,304 件	2,162 件	153 %
		電話相談	4,929 件	2,953 件	167 %
		家庭訪問	476 件	381 件	125 %
		同行	95 件	114 件	83 %
		ケア会議	170 件	182 件	93 %
	相談支援合計		8,974 件	5,792 件	155 %
(2) 事業の内容	(1) 日常生活支援 (2) 在宅福祉サービスの利用援助 (3) 相談・情報提供 (4) 特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 (5) 地域交流・啓発活動 (6) 障がい者及び家族等の地域生活の支援				

4 収支（玉島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	42,830 千円		
	市からの指定管理料（委託料）	38,843 千円		
	利用料金	3,156 千円		
	認定調査業務委託料	505 千円		
	その他の収入	326 千円		
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	42,295 千円		
	支出	人件費	32,516 千円	
		光熱水費	1,885 千円	
		修繕料	440 千円	
		備品購入費	0 千円	
		消耗品費	479 千円	
		施設管理委託費	876 千円	
	その他経費	6,099 千円		